

レケンビについて①

レケンビとはどんなお薬？

レケンビは脳内に蓄積する「アミロイドベータ」を取り除き、アルツハイマー病の改善や進行抑制をするお薬です。

アミロイドベータは、アルツハイマー病が認知機能低下を引き起こす10～20年以上前から脳にたまり始めます。

日常生活の支障

認知機能の低下

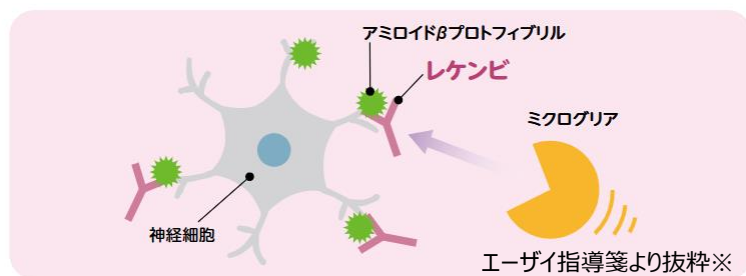
アミロイドベータの蓄積 → 神経の障害

正常な認知機能
(無症状)

アルツハイマー病によるMCI
(軽度認知機能障害)

アルツハイマー病による認知症
(アルツハイマー型認知症)

レケンビはアミロイドベータにくっつき、異物を排除する細胞のミクログリアを引き寄せ、アミロイドベータを取り除きます。



その結果、脳のアミロイドベータが減り、アルツハイマー病の改善や進行が遅くなることが期待されます。

投与方法は？

レケンビは点滴で投与するお薬です。
2週間に1回、1時間かけて点滴をします。

点 滴

1回 1時間

2週間ごと



エーザイ指導箋より抜粋※

レケンビについて②

レケンビの対象は？

レケンビは「**アルツハイマー病における軽度認知障害（MCI）**」と「**アルツハイマー病における軽度認知症**」の方に使用できます。
中等度に進行すると使えないため早めの相談を心がけましょう。
年齢制限はありません。※



エーザイ指導箋より抜粋※

軽度認知障害（MCI）とは？

「脳の機能が健常な状態」と「認知症」の中間の段階です。



新しい家電の使い方を覚えるのに時間がかかる



前日の昼食、夕食の内容が思い出せない



もの忘れの自覚はあるが、年齢相応かもしれないという気もする



仕事上のミスが増えた



メモをとらないと忘れてしまうことが増えた

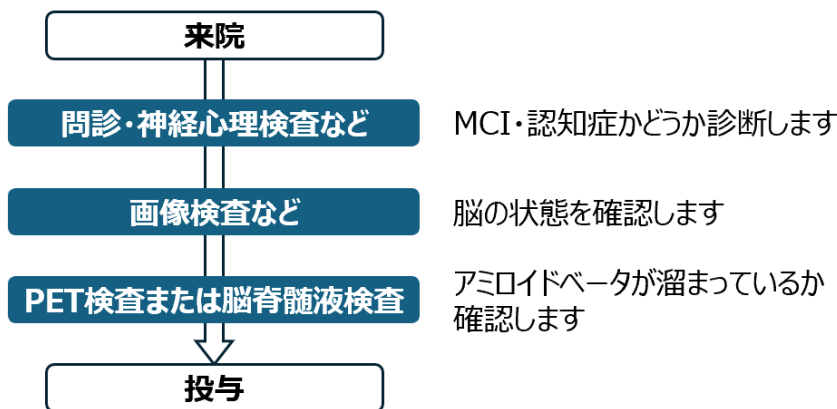
エーザイ指導箋より抜粋※

※レケンビの治験には50～90歳の方が参加していました。

レケンビについて③

治療までの流れ

まずは、医師による問診を受けた後、下記のようにいくつかの検査を行います。



副作用は？

アミロイド関連画像異常（ARIA）という副作用が現れることがあります。ARIAは、脳からアミロイドβが除去されるときに、一時的に血液や血漿が血管の外に漏れだすことで起こる脳のむくみや小さな出血です。

（症候性浮腫2.8%、症候性出血1.4%）

ARIAの有無はMRI検査で確認することができるので、レケンビ投与後は、MRI検査を定期的に行います。

費用は？

レケンビの治療費は体重に応じて変わります。

多くの方は「高額療養費制度」を用いて負担を軽く出来ます。

例えば…（高額療養費制度を用いると）

69歳以下、年収370万～約770万円の場合

→自己負担額は4.5万～8万円/月となります。

70歳以上、年収156万～370万円の場合

→自己負担額は1～2万/月となります。